

蘇我支部結成大会がちとる

28日

各支部も激励にかけつける！

蘇我支部結成大会は九時二〇分、海宝支部書記長の開会のことばによって始まり、議長に渡辺浦吉氏(検査分科)を選出し進められた。

冒頭、宇佐美支部長から「動労千葉本部、各支部代表の参加を得て、蘇我支部結成大会が盛大に行われることに感謝する。この間の蘇我支部の闘いは、連日本部『オルグ』団が来る中で団結署名を一〇〇%かちとる闘いであった。いろいろあったがわれわれは一〇〇%の署名をかちとった。

中央本部が地本執行部を除名するという事態の中でわれわれは闘い抜いた。結成大会は遅れたが今後、動労千葉の仲間とともにがんばってゆく決意を示す結成大会を全参加者の力で成功させてゆこう」と決意をこめたあいさつが行われた。

続いて動労千葉・関川委員長、電車支部を代表して成田・日暮支部長、機関車支部を代表して新小岩・松崎支部長からの激励のあいさつを受け、荻込副支部長からの方針提

起の後質疑討論を行い、満場一致で動労千葉・蘇我支部の結成を確認し、次期定期大会まで現執行部が引き続き執行することを確認した。

続いて本部・関川委員長より支部長、青年部長へそれぞれ支部旗、支部青年部旗の贈呈が行われ、大きな拍手が湧き起った。大会は海宝書記長の閉会のことばの後、最後に宇佐美支部長の音頭による団結ガンバローをもって終了した。

来賓あいさつ(要旨)

本部・関川委員長

蘇我支部の結成によって動労運動の質を糾す闘いはまたひとつ大きな前進をかちとった。残る佐倉・銚子支部の結成準備も着々と進められている。

成田・日暮支部長

成田は五月に八番目の支部として結成をかちとった。蘇我が心から敬意を表する。

続いてくれてうれしい。成田でもいろいろな苦闘があった。蘇我も大変だったと思う。今後ともにがんばろう。

新小岩・松崎支部長

新小岩の結成大会には六五〇名の暴力団が妨害に来た。蘇我もいろいろ妨害される中で一〇〇%の団結署名をかちとった。

「サミット」と八〇年代労働運動のゆくえ

(7) 労働者に武装解除を呼びかける「労働サミット」

「東京サミット」を目前にした六月二二日、参加七ヶ国の労組団体のトップと国際自由労連(IFFLU)など五国際機関代表の参加のもと、「労働サミット」が開催された。「完全雇用サミット」が開催された。完全雇用のための経済成長」「労働時間一〇%短縮」「エネルギー開発」等をめぐって、「労働組合の意見と東京サミットに反映させよう」ということである。

完全雇用も労働時間の一〇%短縮も結構なことである。だが、それらの実現は労働者の資本との対決、実力闘争

参加していった結果、すべての対決の軸を失ない、大合理化・大量首切り攻撃にすら次々に屈服する結果となり、今日「残るも地獄、去るも地獄」というところまで職場環境を破壊されてしまっている。(佐世保重工)

このように見たときに、「労働サミット」は、八〇年代へ向って労働者に武装解除と闘いの放棄を呼びかける反動的なものといわなければならぬ。国鉄労働者は、かつて「マル生」攻撃と真向から対決し、これをぶち破る闘いの中から今日の団結と職場を築きあげてきた。この貴重な経験と実績は、危機の深まりと共に、ますます光り輝き、今日的に真価を問われている。

動労千葉野球大会速報

昨年度の覇者 津田沼を降し

館山支部優勝!!

詳細次号